

井尻小校報 しえんの輪・よりそう心!

令和2年3月発行 卒業特別号 校長 高橋和弘

4名の6年生へ!卒業おめでとう!～卒業式式辞より～

式辞

校舎周りの花壇のチューリップのつぼみも膨らみ、春の温かい日差しが校舎の窓にも降り注ぐようになってきました。

只今、4名の卒業生に「卒業証書」を渡しました。6年間のすべての教育課程を終えられたみなさん、卒業おめでとう。(座ってください)

この栄えある日に、ご来賓の井尻教育後援会 西谷会長様、井尻小PTA妹尾会長様、花田副会長様にご臨席いただき卒業式を挙行できますこと、誠にうれしく思います。心よりお礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、心よりお祝い申しあげます。この六年間、雨の日や雪の日、けがや体調の不良など、さぞかしご心配も多かったことと思いますが、大きく成長された今日の姿に感慨ひとしおのことと思います。

私たち教職員も、この大事な六年間を、皆様と共に子育ての一翼を担えたことをありがたくに思っております。

さて、4名の卒業生のみなさん、みなさんは、六年間の小学校生活を通して大きく成長し、私たちが願っている「自分でめあてを決めてチャレンジする井尻っ子」のリーダーとしてとても頼りになる存在になりました。

責任感が強く、正しいと思ったことは、だれに対しても主張できる尊羽さん。毎朝クラスから聞こえてくるあなたの大きな歌声は、学校全体を元気にしてくれました。登校班長として、時々後ろを振り返りながら、下級生としりとりやクイズを出し合う微笑ましい姿をうれしく思い、あなたの優しさを感じました。歴史や理科の研究で見せる知識への意欲やバレーボールへの情熱は、これからもどんどん発揮してください。

毎朝、学校に一番に到着する登校班の班長として、あいさつの声だしも一番にしてくれた明るく気さくな麻央さん。下級生のことにいつも気を配り、遊んでいても誰かがけがをすると真っ先に駆けつけて介抱する優しい心のお姉さんでした。さわやか委員会の委員長としてあいさつ運動やスリッパそろえの取り組みなどみんなが明るくさわやかに生活できる井尻小学校にしてくれました。陸上大会リレーでの最後の追い抜きに感動しました。

いつも朗らかでクラスの友だちと楽しく会話する活発な理央さん。昼休みは、サッカー、フリスビー、バレーと何にでも、そして誰とでも楽しく遊ぶ姿を見て私のほうが笑顔になりました。下級生をはじめ友だちみんなに慕われる優しい心の持ち主の理央さんは、まなブック委員会でもかるた大会を計画し、楽しい大会にしてくれました。時々様子を話してくれるテニスはこれからもぜひ取り組んでください。

元気モリモリ委員会の委員長としてまた、1年生3人もつれての登校班の班長として頼れるお兄さんだった拓夢さん。友だち思いで家族思いのやさしい心の持ち主でした。お母さんの骨折のボルトが外れる日のことを待ち遠しく私に話してくれた拓夢さん。天下ビーのルールを考え、より楽しめるように工夫してくれるなどみんなのことを考える視野の広さも感じました。バスケットボールでの活躍をこれからも期待しています。

今年度みなさんは、学校の外でも大きな活躍を見せてくれました。夏には、「島根県緑の少年団活動発表大会」に参加し、江津少年自然の家で井尻小の取り組みを堂々と発表してきました。県内他校の友だちとも交流を深めた経験は、これからの中学校生活にも必ず生かせるものであり、みなさんが得た「みどりの奨励賞」という賞は、胸を張って誇れる賞だと思っています。

16歳の少女スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんは、地球温暖化防止を訴え、今の世界を動かしている大人たちを変革しようと国連で演説し、活動を続けています。

みなさんも学習発表会で「地球温暖化について考え、少しでも自分たちにできることを実行していこうと思います。」と力強く宣言してくれました。皆さんの目は、もう世界的活動家と同じ方向を向いているのだと確信しました。

これから迎える中学校生活では、新しい仲間と出会い、様々な考えを出し合い課題を解決していくこととなります。新しい学習に、部活動に、友だち作りに思いっきり羽ばたいてください。皆さんが活躍する姿を期待して小学校から見守りたいと思います。本当に卒業おめでとう。

以上式辞といたします。



卒業サクスプロジェクトで取り組んだ卒業制作の「井尻小の看板」がこのほど完成しました。先日、井尻小学校の校門に飾らせていただきました。4人のことを思い出しながら毎日見上げて登下校します。ありがとう！6年生！